

仙台市市民活動サポートセンターからのお知らせ

マチノワ サロン

みんなの防災協定

現在、各地で市民主体により防災協定が作られています。例えば、自治体や町内会と教育機関が連携した地域防災力向上、NPO同士が連携した避難所におけるスペース（アレルギー食など）対応など。東日本大震災の教訓を経て生まれている、地域防災の動きについてご紹介します。

話題提供者

- ・ 浜松市内 NPO 法人 災害支援連携会議
- ・ 聖学院大学（埼玉県） 地域連携教育センター
- ・ みやぎ夢燈花

日時：2015年 2月17日（火）午後6時～午後8時
 場所：仙台市市民活動サポートセンター 6階セミナーホール
 定員：30名（要申込み）
 主催：防災からまちづくりを考える実行委員会
 企画運営：仙台市市民活動サポートセンター（指定管理者/NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター）
 お申込み/お問い合わせ：仙台市市民活動サポートセンター
 TEL：022-212-3010 E-mail：sendai@sapo-sen.jp



つながる つなげる サポセン

▶仙台市市民活動サポートセンターとは

さまざまな分野の市民活動団体やNPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちが、これから活動しようと考えている人たちのための拠点施設です。

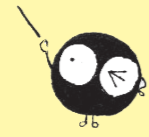
このようなご相談おまかせください

- ・ 市民活動の立ち上げ、法人格の取得・団体運営、組織運営
- ・ 復興支援活動・シニア活動、セカンドライフ相談などまずは、お電話ください。

開館時間 平日：午前9時～午後10時
日祝：午前9時～午後6時

休館日 毎月第2・第4水曜日（祝日の場合は翌日木曜日）
及び、年末年始（12/29～1/3）

HP blog Twitter "Follow Me!"



編集後記

3月の国連防災世界会議の開催に伴い、サポセンは関連事業の会場となります。そのため、3月9日（月）～20日（金）は、貸室、交流サロン、印刷機等のサービスがご利用いただけません。大変ご不便をおかけいたしますが、ぜひ「市民協働と防災」テーマ館にお越しいただき、私たちのまちの防災と一緒に考えてみませんか？スタッフ一同、多くのお客様のご来場をお待ちしております。

▶ぱれっと読者アンケートにご協力をお願いします！



サポセンホームページからアクセスいただくか、携帯電話等で右記の2次元バーコードを読み取ってご利用ください。

発行：仙台市市民活動サポートセンター

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042
HP <http://www.sapo-sen.jp>
Blog <http://blog.canpan.info/fukkou/>
Twitter <https://twitter.com/sensapo>

発行日：2015年2月3日

編集：特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

編集人：菊地竜生 太田貴 菅野祥子 葛西淳子 松村翔子

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行っています。【指定管理期間 2010年4月1日～2015年3月31日】

ぱれっと

2月号

仙台市市民活動サポートセンター通信

2015 No.186

“ぱれっと”には、サポセンにいろいろな人が集まり、それぞれの色（個性）が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく…そんな願いがこめられています。

マチノワ

普段の暮らしの中で「こうしたらもっと良いまちになるのにな」と感じることはありませんか？市民活動と聞くと、少し難しい気がしますが、すべては普通の市民のちいさな思いから始まります。

私たちの経験を世界の防災に役立てよう

今年の3月14日（土）～18日（水）、仙台市で国連防災世界会議が開催されます。この会議は、国際的な防災戦略について議論する国連主催※1の会議です。東日本大震災の被災地である仙台市から、被災地の復興を世界に発信し、防災に関する日本の経験と知見を国際社会と共有する、重要な国際貢献の機会です。

第1回目（1994年）は横浜で、第2回目（2005年）は神戸で開催されました。そして今年、第3回目の会議では、第2回会議で策定された2005年から2015年までの国際的な防災の取組指針「兵庫行動枠組※2」の後継枠組の策定が行われる予定です。

なんだか偉い人たちがする難しい会議のように感じるかもしれませんが、会議期間中には国連主催の本体会議とは別に、政府機関、地方自治体、NPO、NGO、大学、市民活動団体などが主催する復興や防災をテーマとしたシンポジウム・展示も多数開催されます。「私たち」の体験や教訓を持ち寄り、自分事として防災を考える機会になっています。会期中は、いたるところで「私たちの防災戦略」が生まれることでしょう。ぜひそのプロセスにご参加ください。

※1 国連防災世界会議の開催事務局は、国連総会の決定により、国連組織である国連国際防災戦略事務局（UNISDR）が務めています。

※2 2005年1月、国連防災世界会議の成果文書として作成。国際社会が今後10年間に取り組むべき防災に関する包括的なガイドライン。

第3回 国連防災世界会議仙台開催実行委員会
HP：<http://www.bosai-sendai.jp/>

特集

きになるカッドウ研究部

今月の研究テーマは、「市民協働と防災」テーマ館
このまちで、いのちと暮らしを考える



今月の研究のテーマは「市民協働と防災」テーマ館

仙台を舞台に「第3回国連防災世界会議」が開催されます。仙台開催の特徴は、期間中、本会議だけではなく、テーマ館が設置され多くの地域活動団体が参画し、市民が防災について学び合う場ができたことです。会場のひとつである仙台市市民活動サポートセンター（以下サポセン）をリサーチしてみましょう。

このまちで、いのちと暮らしを考える

みなさんは、どんなときに防災について考えますか？日々、命や暮らしを考え、私たちが生きるこのまちを思うときでしょうか。僕は、「家族を守りたい」と思ったとき、改めて防災について考えてみたいと思いました。

サポセンが会場となる「市民協働と防災」テーマ館は、震災の経験から地域課題を解決する様々な取り組みや、町内会や児童館、市民活動団体など、地

域のいろいろな主体による防災・減災の取り組みから、防災の知恵を市民のみなさんと学び合う場になっています。日々の地域活動が非常時にどのように役立ったのか。開催日ごとに「ひきだす」「ささえる」「つながる」「ひろげる」の4つのテーマに沿った地域の取り組みが、ワークショップや展示などで紹介されるみたいですよ！



研究部長

マチノワ ~つながる想いを、まちのチカラに。~ @仙台市市民活動サポートセンター

4つのテーマとは？

3/14 ひきだす

3/15 ささえる

3/16 つながる

3/17 ひろげる

「市民協働と防災」テーマ館研究FILE

サポセン 6F・5F・4F・3F

March 14 Sat **ひきだす** 子どもたちや若者は、防災まちづくりにおいて、大事な担い手となることがあります。新たな担い手が参加することで生まれる、新しい地域防災を取り上げます！

15 Sun **ささえる** 地域の支え合いを日ごろから維持していくには、どうした良いのか考えます！

16 Mon **つながる** 防災における地域ネットワークや自分と違った立場の人と協力していくことで、違った切り口の解決法が生まれる事例を学びます！

17 Tue **ひろげる** 非常時に、大規模なメディアにアクセスできなくなったときに、どんな情報が必要だったでしょうか。私たち一人ひとりが発信できることを考えます！

サポセン 1F

INFORMATION

サポセン初来館の方も安心。サポセンに入っすぐ左手に、テーマ館の総合インフォメーションを設置。館内情報をご案内します。その他国連防災世界会議に関する資料もゲットできます。

OPEN SPACE

飲食など、ひと休みできるフリースペースがあります。会期中は軽食の販売も行われる予定です。

参加しよう！

会期中、毎日様々な団体が展示やイベントを多数開催。地域活動やみなさんの身近な暮らしに活かせるものばかりです。どんなイベントがあるのか、ちょっとのぞいてみましょう！

3/14 ひきだす

4F 研修室5 14:00 ~ 15:30

子どもたちによるワークショップ

防災・減災ワークショップ「命を守る」

／チーム東中田っ子

袋原東中田地区の小学生、中学生、高校生からなる、子どもたちのボランティアチームが企画するワークショップ。子どもたちがファシリテーターを務め、グループごとに「災害への備え」について話し合います。減災絵本『あのひのこと』の読み聞かせもありますよ。家族で参加するのもいいですね。子どもたちが活躍できる地域づくりに関心のある方にもオススメです！

3/15 ささえる

6F セミナーホール 9:00 ~ 12:00

上映会&防災エンスショー

防災教育の取り組み「防災エンスショー」と「ドキュメンタリー映画」

／仙台市の防災教育を推進する実行委員会

東日本大震災で、これまでの防災意識では太刀打ちできない現実に直面しました。災害時の教訓を伝えることや、地域での防災学習の普及は欠かせません。ドキュメンタリー映画「3月11日を生きて〜石巻・門脇小・人々・ことば〜」を鑑賞したり、防災の科学実験ショー「防災エンスショー」を体験できます。子どもでも大人でも、わかりやすく防災について学べますよ。

3/16 つながる

6F セミナーホール 13:00 ~ 17:00

対話(町内会・地域を考える)

東六地区の取り組み【過去・現在そして未来】

／038 プレス(お！宮町地域情報編集局)

東六番丁小学校区及び五城中学校区は、普段からの地域と学校、商店街や地域団体等の連携体制を活かし、東日本大震災時、円滑な避難所運営が行われました。多様な住民が地域の課題を知り、地域参加するきっかけとなっている地域フリーペーパーを通じて、「地域の支え合いと地域情報の共有」をテーマに過去・現在・未来のコミュニティについて話し合います。自分の住むまちの「つながり」について振り返ってみませんか？

3/17 ひろげる

4F 研修室5 18:30 ~ 20:00

トーク&公開録音

避難所運営トークショー〜ああすればよかった・こうしてよかった〜

／セブラル・タイムス (several times)

様々な地域の防災・減災の取り組みから、防災や減災につながるヒントやポイントを全国に発信するセブラル・タイムス。ラジオ番組形式のトークショーを開催します。当日の内容は、インターネットで生放送。公開録音された内容は、後日コミュニティFM放送局で放送し、YouTubeでも公開します。震災後、ますます注目される市民による情報発信。公開録音に参加して、発信者になってみましょう！

詳しくは…

4日間に渡って開催されるイベントや展示は、まだまだあります。当日まで随時更新されるホームページやフェイスブックをチェックするのがオススメです！とにかくこれはもう、実際に参加してみるしかありません。一人ひとりの経験を活かした「私たちのまち」らしい防災を国内外へ発信しましょう！

「市民協働と防災」テーマ館 ホームページなどで開催情報随時更新中！ <http://www.machinowa.net/>



「市民協働と防災」テーマ館に関するお問い合わせ

防災からまちづくりを考える
実行委員会 事務局

〒980-0811

仙台市青葉区一番町四丁目1-3(仙台市市民活動サポートセンター3階)

TEL: 080-1691-4734

E-Mail: info@machinowa.net